

第307回

日文研フォーラム

講師◎ マティアス ハイエク

パリテイドロ大学 東アジア言語文化学部日本学科(フランス) 准教授
日文研 外国人研究員

近世前期の学識と実学を再考する

—— 京都の博学者、馬場信武を中心に ——

コメンテーター◎ 嘉数 次人

大阪市立科学館 学芸担当課長

司会◎ 佐野 真由子
日文研 准教授

2017年1月10日(火) 十四時～十六時(開場十三時四〇分)
ハートピア京都3階大会議室 入場無料

先着一八〇名まで・申込み不要

International Research Center for Japanese Studies

The 307th Nichibunken Forum

主催・大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター



日文研フォーラム

近世前期の学識と実学を 再考する

— 京都の博学者、馬場信武を中心に
Rethinking Early Modern Knowledge and Practicality:
The Case of Baba Nobutake, a Kyoto Polymath

江戸時代前期、特に十七世紀後半から十八世紀初頭の元禄〜正徳の時期は、思想、文芸、政治、経済、技術(科学)など、様々な分野において画期的な移行・変化が見られ、昨今、注目を集めています。

実証的・合理的な精神が特徴とされるこの時代には、「実学」が興隆したとよく言われますが、この「実学」の担い手の一人に、京都の儒医、馬場信武がいました。博学の士であった信武の多岐にわたる著作群から、とりわけ『諸説辨断』という「考証随筆」を取り上げ、地球球体説など当時の新説を取り入れながら陰陽五行と「易」の理論を尊重した、「技術者」の心性を探ってみたいと思います。

講師 **マティアス・ハイエク**

パリ・デイドロ大学 東アジア言語文化学部日文学科(フランス) 准教授 / 日文研 外国人研究員



2003年パリ・ソルボンヌ(第4)大学哲学専攻卒業。2004年同大学大学院社会学知識哲学専攻修士課程修了。同年、フランス国立東洋言語文化研究所日本語日本文化専攻卒業。2008年フランス国立東洋言語文化研究所博士課程修了。パリ・デイドロ(第7)大学教育研究補助員を経て、2009年9月より同大学東アジア言語文化学部准教授。2016年2月から国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。

専門分野は、歴史社会学、知識社会学、文化研究。主な著作に、*Listen, Copy, Read: Popular Learning in Early Modern Japan* (堀内アニツクと共編著、Brill、2014)がある。

コメンテーター **嘉数 次人** 大阪市立科学館 学芸担当課長



1988年大阪教育大学教育学部卒業、1990年大阪教育大学大学院教育学研究科修了。1990年4月より大阪市立科学館学芸員。同館主任学芸員を経て2016年より現職。

専門分野は、科学史、天文教育。主な著書に、『天文学者たちの江戸時代』(ちくま新書、2016)、共著『木村兼葭堂 一なにわの巨人』(思文閣出版、2003)、共著『伊能忠敬測量隊』(小学館、2003)など。主な論文に「高橋至時の地動説」(『科学史研究』第50巻259号、2011)などがある。

日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター(日文研)が、来日中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、共有していただくことを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、月1回のペースで、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2

TEL: 075-335-2078

<http://www.nichibun.ac.jp/ja/>



日文研



京都府立総合社会福祉会館 **ハートピア京都**

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄丸丸線「丸太町」駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「丸丸丸太町」バス停下車

第308回 日文研フォーラム 2017年 2月 10日(金) 14:00~16:00

講師： 宋 浣範 高麗大学グローバル日本研究院(韓国) 副院長 / 日文研 外国人研究員

コメンテーター： 金野 純 学習院女子大学 准教授